

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・売上は2～3か月前までは前年同月比約3%減であったが、今は前年同月並みで推移している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・買上客数が前年同月を上回っている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新車販売はエコカー減税・補助金で前年実績を上回っているが、中古車は大きく前年を割り込んでおり、トータルで見れば不安が残る。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・高速道路料金やフェリー料金の引下げ効果で県外からの客が多くみられ、また、家族連れのお客も多かった。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・5～7月にかけて、新型インフルエンザの影響でキャンセルが増えるなど、落ち込みがひどかったが、8月は高速道路料金引下げの効果や夏休みに入ったこともあり、客の動きが少し良くなってきた。売上は前年同月並み、客数は前年より少し多かった。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・データ端末系を中心とした2台目の携帯電話需要がやや増加傾向にある。
	変わらない	観光名所（職員）	来客数の動き	・個人客が特に増えてきている。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・主な取引先である飲食店の売上が低調である。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・お盆の帰省客向けに、いろいろなイベントを行ったところ、3世代で来店する客が多く見られ、活気のあるものになった。客の購買動向も良くなってきている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べ売上高、来客数共に下回った。ブランド系のラグジュアリー商品、呉服、ダイニング等の商品が苦戦した。また、ファッション関連商品はここ数か月同様、低調に推移した。食品関連は健闘したが前年を若干下回った。中元関連では購入単価は上回ったが依頼主数の減少により前年を若干下回った。
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・売る側も低価格商品に力を注いでいることもあるが、総じて購買単価は低く、まとめ買いも少ない。
		衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・8月は夏物最終セールに入っているが、総選挙の影響もあり、特に土日の売上が伸びない。マイナス分をカバーしようと企画したイベントも極端に来客が少なく、イベント売上を加えても前年比5%程度の減少である。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・今月前半は、テレビに加え、冷蔵庫、洗濯機が例年並みまで戻してきたが、後半に入り、販売台数が3割程度落ちてきている。大型商品も同程度減少している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー減税と補助金に対する客の興味が一段落した。エコカー以外の販売は不振を極めており、景気が上向いたとは思えない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・自動車業界は、補助金制度があるからこの状態が保てられるという状態であり、来年度以降、補助金が終わったときにどうなるかわからない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・6月後半以降、来客数の減少が目立つ。買上点数もややマイナスで推移しており、収入減をカバーする動きに見える。
旅行代理店（支店長）		販売量の動き	・先月から今月にかけて新型インフルエンザの影響が薄れてきた関係で、客数は増加傾向にある。しかし、高速道路料金引下げの影響で旅行形態が「安・近・短」の傾向が顕著であり、単価自体の落ち込みから販売は横ばい状態である。	
タクシー運転手	単価の動き	・8月前半は、利用客もあったが、お盆過ぎから減少している。高速道路料金引下げの影響をかなり受けている。		
タクシー運転手	お客様の様子	・月の前半はまだ良かったが、月の半ばごろから後半にかけて、客の様子、客単価共、全くダメである。		

	通信会社（支店長）	来客数の動き	・前月と比べ、来客数は横ばいの状況である。また、家計との関わりからも、物品購入とまではいかない状況にある。
	通信会社（企画）	お客様の様子	・携帯電話は高額機種への引き合いは以前に比べると増加しているが、最近3か月で見ると特に変化はない。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・週末の天候が悪かったせいで、週末の来場者は減ったが、全体的な客数は3か月前と比べあまり減っていない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数、単価共に減少傾向が続いている。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・盆前は多少忙しかったが、それ以降は暇であった。
	設計事務所（職員）	販売量の動き	・利益率の低い物件が多く、販売管理費を切り詰めているものの、顧客ニーズの高度化・多様化に対し労務費が掛かるため、販売量が増えず、利益も極めて少ない。
	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・宅地からの購入計画の方が多く、住宅の単価は下がっており、その傾向が続いている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・夏祭りのイベントの間はかなりの入でにぎわった。しかし、その後は高速道路料金引下げ効果を期待したが、逆に、商店街へ来るよりも県外へ出て行く傾向がみられ、入客が減少した。夏休み後半も、来街客が減っている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・全体的な購買数が低下してきている。安くしたからたくさん売れるという傾向がなくなりつつある。
	スーパー（店長）	単価の動き	・これまで売上が堅調であった惣菜や食品も減少している。8月上旬は、梅雨明けの遅れや週末の雨により、来客数の減少、アイスや飲料の売上減となったが、お盆以降も客単価の減少が続いている。
	スーパー（企画担当）	単価の動き	・食品ディスカウント業態への客の反応が良いため、商品単価の低い店舗への業態変更や購入単価の引下げ傾向が続いている。衣料品については客の目的意識が強まっており、用途に合ったものでなければ買わない。
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・経済状況の先行き不安や夏場の天候不順等により客数及び客単価の減少につながっている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・バーゲンもお盆も天候不順であったため、客足が非常に悪かった。
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・現在の販売量の増加は、補助金や減税効果の結果であって、決して景気が良くなったという感じはしない。減税効果のある小型車が売れている。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数が減ってきている。総選挙の影響で人が動かず、消費性向が落ちている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今年は例年と比べ天候が悪かったため、タクシー乗車が少なかった。飲みに出る人も相変わらず少ないので、夜の客は少なく、乗ったとしても近くまで、という状況である。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・8月はお盆レース、SGレースとビッグレースが開催されたが、思ったほど売上が増えなかった。お盆レースは例年売上が伸びるが1レースの場内総売上が前年比で2割弱減少した。SGレースも、開催があと3日間残っているものの、1レースの場内総売上は前年比で1割程度減が見込まれる。しかし、電話投票を含む総売上はかなり伸びている。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街は日中だけでなく、夜も通行量が減っている。
	一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・今年のお盆休みは15日が土曜日で曜日配列がよく、高速道路料金引下げの影響もあって、観光客が伸びると期待をしていたが、逆に売上が前年より悪かった。
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・お盆は1年で最繁忙期であるが、総選挙期間と重なったため、飲み屋街は閑古鳥が鳴いている状況である。酒類の売上は中級品だけでなく低価格品も大幅にダウンした。さらに納入価格の値下げ要請、支払サイトの延長要請が相次ぎ、ぎりぎりの状態である。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客は安い商品に走っている。競合店も売れないのか、チラシの頻度が増えたり、スタンプサービスの頻度を増やしたりしている。それに伴い、客の移動が起こるとい状況である。

		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・天候不順もあって、来店客数・売上共に前年を下回り、物価下落とあいまって業績への影響は避けられない。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	鉄鋼業（総務・人事統括）	受注量や販売量の動き	・受注は回復傾向であるが、ボリュームは前年水準を大きく下回った状況で推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電子関連の機械設備の受注がかなり増えてきた。化学装置や製薬関連の設備の受注も少しずつ増えてきている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・手持ち工事量は、公共関連工事、耐震工事を中心に成約があり、最悪期を脱し、回復基調にある。
		輸送業（社員）	取引先の様子	・主要取引先の自動車部品、電機製造メーカー、原料製造、製紙会社等の出荷数量をみると、前年並みには至らないものの、前年下期からの減産体制は改善されている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・大型スーパーのマネージャーによると、個人消費の回復はまだまだで、キャンペーンに対する客の反応は悪く、厳しい状況が続いている、とのことだが、家電量販店のマネージャーからは、エコポイント制度の効果が続いており、家電以外の日用品の売上も安定してきている、など、明るい話題が聞こえるようになった。
		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注は昨年のように「全くだめ」という雰囲気ではなくなった。しかし、仕事はかなりあるが、価格は驚くほど安い。
変わらない		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的に受注量の動きは悪いが、新型インフルエンザの影響で、除菌関係の受注が少し多くなってきている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設用クレーンの総需要は、前年同月の30.3%の水準に低迷しており、縮小したパイの中で価格競争による厳しい商談が行われる状況が続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注がますます難しくなった。
		輸送業（統括）	取引先の様子	・製造業（特に海外輸出業者）が生産減の状態である。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・新規投資に対する慎重な姿勢は続いている。コスト削減への要求は強く、明確なメリットが見えない提案には振り向いてくれない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・客との話や与信先の試算表等から判断すると、業況は3か月くらい前から横ばいである。
やや悪く なっている		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・末端での動きが悪い状況となっている。
		繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・この2～3か月、全体的には衣料品関係の消費は冷え込んでいる状況である。また百貨店、量販店ともに仕入、販売する側が自らリスクを取らないため、いい商品が集まらない、といったところにも消費低迷の原因があるように思われる。
		公認会計士	取引先の様子	・顧問先の決算状況や試算表の状況を見てみると、3か月前より、若干、悪くなっている企業が増えている。売上、利益共に減少している。
雇用 関連	悪く なっている			
	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・中途採用市場では、この景況下でも伸びている企業にとっては、多くの応募者から選考できるため、即戦力の求人数は拡大傾向にある。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・求人広告出稿が比較的堅調なのは病院関係とパチンコ、自治体関連である。不動産は物件が動かず低調で、小売店からも、もう限界に近いとの声を聞く。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・有効求人倍率は0.70倍となり、3か月前と同水準であった。内容面では、常用求人が減少傾向にある一方で、パートタイム求人は増加傾向にあり、安定的就職がますます厳しくなっている。特に求職者が希望する事務、製造では、一般常用の求人倍率が0.20倍を切るなど、職種の不マッチが際立っている。	

	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人数が新卒採用・中途採用共に激減している。特に新卒採用は、今まで積極的に採用してきた企業が採用数を減らしたり、採用を手控える所が多くなってきている。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で13.3%減少し、新規求職者数は13.0%増加している。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・自動車や家電など一部の業者からは受注増加の話もあるが、全体では動きは鈍く、景気は下向きである。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・大学に送られてくる求人数や求人件数が少なくなっており、前年同期と比べても悪い。
悪くなっている			